



平成 29 年度  
西山小学校  
学校だより

# 杉

第 59 号  
平成 30 年 2 月 28 日(水)  
文責：菊地正人

深い雪にも耐え 大空に向かって たくましまっすぐ伸びる 西山の杉のような子どもを育てる

## 「西中生ありがとう!!!」

## 読み聞かせ実施

昨日の朝に西中生による「読み聞かせ」が行われました。絵本を中心に中学生が選書したものを小学生に読み聞かせをすることで、小中連携・異学年交流を深めるといふねらいのもと実施しました。中学生1・2年生全員が来校し、低学年・中学年・高学年に分かれて行いました。最初はちょっと緊張している様子も見られましたが、そこはさすが中学生でした。とても聴きやすく感情込めての読み聞かせをしてくれました。また、小学生もいつもの読み聞かせと同様に真剣な眼差しで聴き入る姿が見られました。聴いた後の感想も言うことができ、ほのぼのとした交流となりました。「んっ このような姿も、今回が最後になるのか…?」と思うと、ふと寂しさも感じてしまいました。『西中生、本当にありがとう!!!』



## 「3年生がんばりました！」

## 発表会&ゲストティーチャー

昨日は、3年生の二人が「読み聞かせ」に引き続き行った発表会と金子勝之さんご夫妻をゲストティーチャーとしてお迎えしての、社会科の学習をがんばる姿が見られましたので紹介します。まず、朝の時間を使っての発表会にはなんと西中生12名全員が聞きに来てくれました。詩乃さんは、大成沢で見かけた「ひし」について発表しました。その謂れや西中生が全校あげて作るようになった訳を土橋さんや高橋校長先生に取材したことを中心に発表しました。また、乃唯さんは、金子勝之さんが作っている「ブルーベリー」に興味をもったことをきっかけとして、実際に「山ねこ」に行き、金子さんから聞いた栽培方法やジャムの作り方などを発表しました。二人とも、ipadや写真を使いながら発表しました。西中生の表情は、本当に真剣そのもので感想も話してくれました。ここ西山地区にある地域素材を生かしての学習でしたが、二人にとっては大変充実した内容となりました。また、中学生は小学3年生が自分で調べ、まとめ、そして大勢の前で発表したことにちょっぴり驚いていた様子がうかがえました。



次に、2校時目にはゲストティーチャーの金子勝之さんご夫妻から、『熊野神社 たいまつぶち 虫送り 鳥追い 山の神 十二月十二日』など西山地区にある古い建物や伝統行事についての話を聴きました。また、鳥追いの歌も生で拝聴しました。さらにたいまつなどの現物も持参して頂き、紹介してくれました。二人はメモを取りながら興味津々に話を聞くことができました。このあと、「カルタ」にしてまとめをするということで楽しみです。

